

1. 事業目的と事業概要

仕様書記載の事業の目的

新型コロナウイルスの影響によるテレワークの普及に伴い、都心から離れ、地方で働くことへの関心が高まっている中で、首都圏の企業等をターゲットとしたワーケーションのモニタリングツアーを実施し、より多くの企業を呼び込み、函館市のワーケーション環境および立地環境等のPRをすることで、来期以降のワーケーションのリピーターの確保やサテライトオフィス開設の検討、ひいては企業立地の検討へつなげるとともに、参加者アンケートの分析を基に、函館市のワーケーション環境の向上を図ることにより、新たな「交流人口」および「関係人口」の創出・拡大を図る。

事業概要

事業の内容 1

モニターツアーの企画・運営

事業の内容 2

モニターツアーの広報・集客

事業の内容 3

モニターツアーアンケートの実施・集計・分析

2. モニタツアーの企画・運営・広報・集客に関する業務（ツアー内容）

モニターツアー実施内容

函館市のワーケーション環境及び立地環境の良さを強力にアピールする機会として、ワーキングスペースの見学、企業・教育機関との各種イベントへの参加による充実したワーケーション体験ツアーを催行しました。

ツアー中は公共交通機関で移動、実際の日常生活での交通環境も体験。

ツアー終了後は参加者へのアンケートで具体的なニーズ、課題点を抽出しました。

<旅行条件>

【旅行期間】2020年9月～11月の間で7回設定

【方面】関東・関西・中部地方発地

【募集人員】各回は20名

【最小催行人員】各回4名(予定)

【ツアー内容】基本2泊3日から設定

【アクティビティ】函館市ならではのものをご提案（別紙）

各自ご希望の研修に参加（事前にアンケートを実施）

【家族用プラン】設定（但し家族分は成果連動実績の対象外）

【旅行代金に含まれるもの】航空代・宿泊・朝食・ワーケーションオフィス利用費用

【旅行代金に含まれないもの】昼食、夕食、現地移動交通費

【ツアー催行】全7回<*は参加者の希望で設定> 参加者合計 67名

<出発日>

2020年9月28日	5名
10月5日	6名
10月12日	2名
<*10月13日	3名>
10月19日	3名
10月26日	9名
11月9日	16名
<*11月8日	1名>
11月16日	21名
<*11月17日	1名>

2. モニタツアーの企画・運営・広報・集客に関する業務（ツアー内容）

利用宿泊施設

1. ユニゾインエクスプレス函館駅前（46名様 延べ121泊利用）

JR函館駅より徒歩5分。函館駅前という便利な立地のカジュアルビジネスホテル



2. 函館国際ホテル（6名様 延べ28泊利用）

JR函館駅から徒歩8分。本館13階には天然温泉展望大浴場「汐見の湯」がございます。



3. ラ・ジェント・ステイ函館駅前（14名様 延べ42泊利用）

2019年12月オープンの新しいホテル。函館駅から徒歩1分 温泉大浴場もございます。



4. 湯の浜ホテル（8名様 延べ14泊利用）



2. モニタツアーの企画・運営・広報・集客に関する業務（ツアー内容）

見学地・視察先情報

高等教育機関・産業支援機関等

- ・ 公立ほこだて未来大学（49名様参加）
（ITに根ざした産業と研究開発を支える人材を多数輩出）
 - ・ 北海道立工業技術センター（5名様参加）
（函館地区の中核的研究機関。地域の企業活動を支援）
- ・ 函館市国際水産・海洋総合研究センター（13名様参加）
（入居型貸研究施設として産官学連携促進）
- ・ 函館市からの立地環境PR（67名様参加）
- ・ 五稜郭タワー見学（67名様参加）

公立ほこだて未来大学



ワークスペース(別紙参照)

- ・ ワークラボ函館・大三坂オフィス・函館市臨海研究所・WB（ウェルビーイング）

マインドフルネスプログラム

自然体験を通して心を“今”に向けて仕事のパフォーマンスを上げていくセッション

実施日：11月18日（水）/6名様参加

【体験内容】

オリエンテーション⇒真宗大谷派 函館別院（参拝・読経・写経・法話）
⇒函館山登山（肚づくり・山道でマントラ行）⇒山頂にて瞑想・作務（ゴミ拾い）⇒
気づきと学びのまとめ・シェア⇒最後のオリエンテーション

足立 信行（株式会社T-sousai 代表取締役）

1982年、京都府生まれ。在家の家に生まれる。突如18歳の時に高野山で僧侶になることを決意。24歳という史上最も若い年齢で本山布教師示教の資格を受け、高野山真言宗管長猊下の名代として布教活動に従事。社会に必要とされるお寺とは何かの示唆を受けたことで山を降り、人々の苦しみを安らかにするために何ができるかを考え、お寺と葬儀社が手を取り誰もが安心して、安全で、安寧を祈る葬儀を実現するためにT-sousai を創業し、現職となる。

2. モニタツアーの企画・運営・広報・集客に関する業務（ツアー内容）

利用コワーキングスペース

■ ワークラボ函館（延べ62名様利用）



- 【住 所】 北海道函館市五稜郭町33-1 フコク生命ビル8F
 - 【最寄駅】 五稜郭公園前駅
 - 【アクセス】 函館市電 五稜郭公園前駅5分
 - 【収容人数】 3名程度
 - 【設 備】 Wi-Fi、電源
 - 【周 辺】 コンビニエンスストア、ラッキーピエロ(ハンバーガーショップ) 五稜郭公園
 - 【料 金】 無料
- ※モニタリングツアー中のみコワーキングスペースとして提供

■ 大三坂オフィス（延べ29名様利用）



- 【住 所】 北海道函館市末広町18-26号大三坂ビルチング 2階
- 【最寄駅】 十字街駅
- 【アクセス】 函館市電 十字街駅5分
- 【収容人数】 10名程度
- 【設 備】 Wi-Fi、電源、プリンター
- 【周 辺】 コンビニエンスストア、金森赤レンガ倉庫
- 【料 金】 300円/時間

■ 函館市臨海研究所（延べ19名様利用）



- 【住 所】 北海道函館市大町13-1
- 【最寄駅】 大町駅
- 【アクセス】 函館市電 大町駅1分
- 【収容人数】 6名程度（中会議室）、4名程度（小会議室）
- 【設 備】 Wi-Fi、電源、液晶ディスプレイ
- 【周 辺】 コンビニエンスストア、金森赤レンガ倉庫
- 【料 金】 無料

■ MIRAI BASE（延べ6名様利用）



- 【住 所】 北海道函館市美原2丁目7-21
- 【最寄駅】 亀田支所前停留所
- 【アクセス】 函館バス 亀田支所前下車4分
- 【収容人数】 20名程度
- 【設 備】 Wi-Fi、電源、プリンタ&スキャナ
- 【周 辺】 スーパーマーケット
- 【料 金】 500円/2時間

*WB（ウェルビーイング）本町児童館（延べ12名様利用）

- 【住 所】 北海道函館市本町36-15
- 【最寄駅】 中央病院前駅
- 【アクセス】 函館市電 中央病院前駅4分



イメージ

2. モニタツアーの企画・運営・広報・集客に関する業務（ツアー内容）

マインドフルネス研修行程

実施日：2020年11月18日（水） 6名様参加

午前の部

9:30

函館市臨海研究所 集合

<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014031100224/>

9:45 研修開始

・オリエンテーション（ホワイトボードあり）

11:00 徒歩移動

・東本願寺

・函館ハリストス正教会

11:45 昼食（各自）

午後の部

13:00 函館護國神社 集合

<http://hakodate-gokoku.jp>

函館山 登山開始

・歩行禅

・自然体感

・己と向き合う

15:00 山頂到着

15:15 函館ロープウェイ2階ジェノバ（佐々木さん宛）カフェテリアにてまとめ

16:00 山頂にて解散

2. モニタツアーの企画・運営・広報・集客に関する業務（ツアー広告宣伝）

発信 ② 日本旅行 法人営業支店（関東、関西、中部）からの営業

☆旅行本社よりSOL営業本部（東京）、東日本営業本部（関東・甲信越）、関西営業本部（関西・四国・北陸地区）、中部営業本部（東海地区）に営業指示、各支店の営業がセールスを展開。その他、本社からニュースリリースを発信（2020年9月25日）し、日本旅行全支店のみならず、社外に広く発信した。

※ニュースリリース発信当日、北海道新聞様より掲載に際しての連絡が本社広報にありました。1名当日申込があった。

※関西圏、中部圏の法人営業支店によるセールスに関しては何件か問合せがあったものの中部圏では2名、関西圏では0名という結果となった。

「ワーケーション」
働き方改革の推進を背景に、働き方のカタチが見直されてきました。テレワークの浸透により働く場所がオフィスや自宅だけでなく、自然豊かなリゾート地という選択数も生まれています。

ワーケーションとは：
ワーク WORK + バケーション VACATION = WORKATION ワケーション

リゾート地や地方等の普段の職場とは異なる場所や働きながら休暇取得等を行う仕組みです。個人が主体的に選択する、日常的な仕事で、非日常的な休みの感覚を味わいながら柔軟な働き方であり、「新たな働き方」として注目されています。

サーフィンが好きなAさんのワーケーションの1日

1 リフレッシュすることで作業効率もアップ！
仕事時間以外は自由に過ごす。仕事時間外は自由な過ごし方。ワーケーションの上手な使い方のアプリも開発されています。

2 家族とのプライベートな時間を確保！
家族と一緒に休暇を通じて心なごはれながら、ワークライフバランスの良さを体感することもできます。

3 通勤時間のストレスも！
通勤時間に長時間かからない。無駄なストレスや通勤も少なくなります。通勤ストレスを解消することが可能です。

日本旅行がおすすめするワーケーションSPOT

- 【東京圏 / 八丈島】 島の自然と温泉が楽しめる。リゾートワークの企画にダイビングもできる。大自然を満喫することができます。
- 【北海道 / 函館】 島の自然と温泉が楽しめる。リゾートワークの企画にダイビングもできる。大自然を満喫することができます。
- 【新潟県】 温泉地でワーケーションの楽しみ方。仕事時間外は自由に過ごす。仕事時間外は自由な過ごし方。ワーケーションの上手な使い方のアプリも開発されています。

対象企業 選定基準



- ① サテライトオフィスなど地方への拠点開設に関心を持つ企業
- ② 函館地域の企業や高等教育機関と何らかのビジネス的繋がりを持ちたい企業
- ③ テレワークを社として実施している企業、ワーケーションに興味がある企業

対象企業：IT（特にシステム開発・ソフトウェア開発・Web作成）企業及び製造業

2. モニタツアーの企画・運営・広報・集客に関する業務（ツアー広告宣伝）

発信 ③ 日本旅行 ニュースリリース

News Release
日本旅行ニュース 2020

2020年9月25日

日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY

アクセス・観光・温泉・食など、魅力満載の街でワーケーション体験を！
函館市でワーケーションモニタリングツアーを実施！

株式会社日本旅行（本社：東京都中央区、社長：堀坂明弘）東日本営業本部では、北海道函館市が実施する「ワーケーションモニタリング事業」を委託し、アクセス・観光・温泉・食などが魅力的な函館市でワーケーションを体験していただく「函館ワーケーションモニタリングツアー」の募集を開始いたしました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止、企業のリスク管理、働き方改革の観点から、リゾート地や観光地で余暇を楽しみながら仕事を行う「ワーケーション」への取組みが、首都圏を中心に広がっており、また、関心も高まっています。函館市では交流人口の増加、将来的な企業誘致につなげるためのきっかけとして「ワーケーション」を推進し、首都圏、中京圏、関西圏のIT関連企業やワーケーションに関心を持つ企業に向けて、「ワーケーションモニタリング」を実施、そのツアーの設定・募集・実施を当社が行います。アクセスもよく、観光・温泉・食など多彩な魅力を持つ函館のワーケーションでのご利用を函館市の助成により、リーズナブルな旅行代金で体験していただけます。



▼ 函館の魅力

- ★ 東名阪より航空便で約1時間半の近さ！
- ★ 北海道新幹線で東京から新函館北斗まで最速3時間58分！
- ★ 年間通し、安定した快適な気候！
- ★ コンバクトシティ（狭いエリアに医療・福祉・商業等の都市機能が集中）
- ★ 美しい夜景・温泉を代表とする国際観光都市
- ★ 海産物や農産物など豊かな食材

このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社日本旅行 秘書広報部 広報担当 TEL 03-6895-7860
東京都中央区日本橋1-10-1 日本橋ダイヤビルディング12階

4. 旅行日程

各空港出発、3日間・4日間・5日間のコースをご用意しています。いずれも宿泊は函館市内のホテルです。

- <1日目> 各空港——函館 各自で「五稜郭タワー」へ集合
 - ① 函館市役所より、函館の魅力プレゼンテーション
 - ② 公立はこだて未来大学、函館市国際水産・海洋総合研究センター、道立工業技術センターのいずれかを見学
- <2日目> ① コワーキングスペース体験（上記6施設のいずれかを2時間以上ご体験いただけます）
 - ※ 滞在中の空き時間にも事前予約の上、ご利用いただけます
 - ② 函館の魅力体験（各自）
- <3日目> ① マインドフルネスプログラムご参加（4日間、5日間コースのみ）
 - ※ 最少催行人員4名以上、催行日：10月14日（水）、11月18日（水）のみ
 - ※ 3日間コースはご出発までコワーキングスペースをご体験いただいた後、各自空港から各地へ
- <4日目> 終日フリータイム、コワーキングスペースをご体験いただけます。＜函館市内泊＞
 - ※ 4日間コースはご出発までコワーキングスペースをご体験いただいた後、各自空港から各地へ
- <5日目> 4日間コースはご出発までコワーキングスペースをご体験いただいた後、各自空港から各地へ

5. 旅行代金例（出発日より異なります）

- <3日間コース> 東京発 51,300円～54,300円
 - ※ 函館市からの助成を引いたお支払額 18,300円～21,300円
- <4日間コース> 東京発 58,100円～61,100円
 - ※ 函館市からの助成を引いたお支払額 19,600円～22,600円
- <5日間コース> 東京発 64,900円～72,900円
 - ※ 函館市からの助成を引いたお支払額 20,900円～28,900円
- ※ 同伴者も参加可能ですが函館市の助成金は補助されません。
- ※ 函館市助成金は定額制でございます。上記金額でご参加いただけない場合は速やかにご連絡します。
- ※ Go To トラベル適用は別途ご確認ください
- ※ 旅行日程、旅行代金の詳細は下記の店舗へお問い合わせください。

6. 申込み・問合せ先

お近くの日本旅行・日本旅行リテイリングなど日本旅行商品取り扱い店舗にてお申込みください。
店舗一覧：<http://www.nta.co.jp/shop/>

函館ワーケーションモニタリングツアー概要

1. 出発日

東京発（羽田空港）、大阪発（伊丹空港）、名古屋発（中部国際空港）いずれも10/5（月）、12日（月）、19日（月）、11/9（月）、16日（月）の出発

2. ご参加について

首都圏、中京圏、関西圏のIT関連企業、ワーケーションに関心をもつ企業の社員、役員さまにお勧めします。ツアー終了後、アンケートにお答えいただけます。（※フリーランスの方は参加不可）

3. ツアーのポイント

- ★ コワーキングスペースをご体験いただけます。
- ★ 函館の観光施設のほか、公立はこだて未来大学、北海道立工業技術センター等のいずれかをご見学いただけます。
- ★ 自然体験を通じて仕事のパフォーマンスを上げていく研修プログラム「マインドフルネスプログラム」にご参加いただけます。（4日間、5日間のコースへのご参加者のみ。旅行代金に含まれます）

【コワーキングスペース例】

■WB(ウェルビーイング) 函館本町児童館(改装中) 中道日中リニューアルオープン予定 【注】北海道函館市本町16-15 【アクセス】函館市電 中央病院前駅 徒歩約4分 【収容人数】20名程度 【備】コピー機、有線LAN、電気、プリンタ 【利用時間】近日常表	■函館大三坂オフィス 【注】北海道函館市末広町18-25号 大三坂ビルディング2階 【アクセス】函館市電 十字街駅徒歩約5分 【収容人数】10名程度 【備】Wi-Fi、有線LAN、電気、プリンタ 【注】近スパーマーケット、教会、飲食店、カラオケ、カフェ等 【利用時間】10:00～19:00 不定休
■函館市産業支援センター 【注】北海道函館市函館市越後町179-32 【アクセス】函館バス 船越下車徒歩約5分 【収容人数】20名程度 【備】Wi-Fi、電気、プロジェクター、プリンタ 【注】2階ビル、エレベーター、公民館はこたて未来大学 ※モニタリングツアー期間のみ利用可 【利用時間】平日9:00～17:00	■函館市観海研究所 【注】北海道函館市大町13-1 【アクセス】函館市電 本町駅徒歩約1分 【収容人数】4名程度（中会議室、3名程度（小会議室）） 【備】Wi-Fi、電気、外付けモニター 【注】近コンビニ、金魚センター等 ※モニタリングツアー期間のみ利用可 【利用時間】平日9:00～17:00
■MIRAI BASE 【注】北海道函館市美原3丁目7-21 【アクセス】函館バス 亀田交差点下車 徒歩約4分 【収容人数】20名程度 【備】Wi-Fi、電気、プリンタ、スキャナ 【注】2階ビル、エレベーター 【利用時間】ホームページの営業日カレンダーをご覧ください。	■ワークラボ函館 【注】北海道函館市五稜郭町13-1 フロク生命ビル8F 【アクセス】函館市電 五稜郭公園前駅 徒歩約1分 【収容人数】8名程度 【設備】Wi-Fi、電気、ワーケーション（周辺）コンビニ、飲食店、有線LAN、電気、プリンタ、複写機、五稜郭タワー ※モニタリングツアー期間のみ、道産物オフィスとして利用している施設をコワーキングスペースとして提供 【利用時間】平日9:00～18:00



2. モニタツアーの企画・運営・広報・集客に関する業務（ツアー広告宣伝）

発信 ④ 北海道新聞記事

北海道新聞 どうしん 電子版
2020/09/30 道南

函館市は、市内で長期休暇を取りながらテレワークする「ワーケーション」のモニタツアーを10月5日から始める。初回は東京の10企業、社員6人が3泊5日に参加する。市は市内研究機関の視察のほか、西部地区散策、温泉入浴などのメニューを設けており、満足度を調査し、企業誘致につなげる。

（伊藤友佳子）

ワーケーション メニュー多彩

函館市のツアー 5日から第1弾

モニタツアーは三大都市圏の10企業を主なターゲットに募集。テレワークの場には西部地区や五稜郭町など市内6カ所を用意した。一つのオフィスを複数で共用するコワーキングスペースも用意する。

モニタツアーは三大都市圏の10企業を主なターゲットに募集。テレワークの場には西部地区や五稜郭町など市内6カ所を用意した。一つのオフィスを複数で共用するコワーキングスペースも用意する。

ベースで、参加企業に選んでもらう。公共無線LAN、WiFi、iWi-Fiなどを備える。ツアーには公立はなて未来大や道立産業技術センターなど、研究機関への視察も盛り込み、ビジネス展開も視野に入れる。

休暇の体験メニューは西部地区の散策、函館山の夜景、湯川地区の温泉入浴などを用意。社員研修として複数人でできる農作物収穫や船での釣りなどもそ

ろえ、自然と歴史豊かな函館や道南の魅力を感じてもらおう。市内のホテル3施設のいずれかに宿泊する。

ツアーは11月中旬まで実施する。2泊3日から最長8泊9日まで、市は交通費や宿泊費など旅費の約5〜7割を負担する。約70人の参加を見積もり、事業費は1400万円。ツアーの募集や実施は市が旅行会社の日本旅行（東京）に委託する。

首都圏などでは新型コロナウイルスの感染拡大で、オフィスに行かずに働くテレワークが浸透しており、市は「ワーケーション」が今後拡大すると見ている。参加企業や社員に、満足度アンケートを行って課題などを探る。経済部企業立地担当はアンケート結果を基に、今後の企業誘致を支援した。今後の企業誘致を支援した。

ワーケーションは「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語。地方で数日から数週間滞在して余暇を業し、必要な業務を休暇地からテレワークでこなす。

6カ所にオフィス／西部地区散策／収穫体験…



函館を中心に行われるワーケーションのモニターツアー募集のチラシ

2. モニタツアーの企画・運営・広報・集客に関する業務（ツアー広告宣伝）

発信 ⑦ 航空ライター記事 11月29日更新

Risvel リスヴェル
旅する人に届けたい世界の情報

TOP SEARCH FEATURE TRAVEL COLUMN TAX FREE ABOUT US

トップ > トラベルコラム > 魅力度市町村ランキング1位の函館でワーケーションしてみた

旅の扉

【連載コラム】空旅のススメ
あびあんういんぐ

2020年11月29日更新



航空ライター：Koji Kitajima

いいね!

ツイート

魅力度市町村ランキング1位の函館でワーケーションしてみた



ワーケーションしていても函館山観光は外せない

ツアー概要

コロナ禍においてテレワークを一步進めた、ワーク（働く）とバケーション（休暇）を同時に行う「ワーケーション」はトレンドになっています。今回、株式会社日本旅行が函館市とともに実施したのは、「函館ワーケーションモニタリングツアー」です。

10月から11月かけて設定され、出発地は、東京・大阪・名古屋があり、最大8泊まで市の支援（助成）対象です。GO TO トラベルと併用することにより、参加者の支払いは2泊3日で1万円台からと格安になっています。

今回、このモニタリングツアーに参加することができましたので、函館がワーケーションに適している理由とともに紹介していきたいと思ひます。

宿泊先は、3つから選ぶことができます。函館駅前のビジネスホテル「ユニゾインエクスプレス函館駅前」のスタンダードタイプに加え、追加料金でウォーターフロントの温泉ホテル「函館国際ホテル」や湯の川の温泉ホテル「イマジンホテル&リゾート函館」の選択が可能です。今回は、ユニゾインに泊まりました。

2. モニタツアーの企画・運営・広報・集客に関する業務（ツアー広告宣伝）

発信 ⑦ 航空ライター記事 11月29日更新

モニタリングツアーに出発

函館空港に到着すると、飛行機の到着時間に合わせて駅前に向かうバスが発車します。函館の魅力にコンパクトシティが挙げられますが、函館に到着してすぐにそれを実感します。湯の川温泉は、バスで5分。函館駅前でも20分と至近です。

函館駅から徒歩5分のユニゾインエクスプレス函館駅前ホテルに入ると、函館駅側の部屋は、駅ターミナルや函館湾が見渡せます。Wi-Fiは完備されており、ベッド幅100cmで11㎡の部屋は一般的なビジネスホテルの広さです。部屋での作業もできますが、モニタリングツアーの参加条件でもある外部のコワーキングスペース（共用オフィス）を利用してみました



コワーキングスペースへ

市内で6か所用意されたコワーキングスペースのうち、市街西側地区の「函館大三坂オフィス」に向かいました。函館市電で函館駅前から3つ目、十字街から歩きます。函館市観光情報サイト「はこぶら」の中で函館の坂道が19か所紹介されており、そのうちのひとつが大三坂。昔ながらの建物と、石畳の景観から国土交通省の「日本の道100選」にも選ばれた美しい坂です。

函館大三坂オフィスの中には窓に向かうシングル席4席と楕円テーブルの6席で計10名が利用できるスペースがあります。窓側の2席は港側に面しており、船の行き交う様子や函館市電が通りを横切る様子も伺えて、気持ちのいい環境です

もう1か所のコワーキングスペース、五稜郭に近い「ワークラボ函館」にも行ってみました。普段は、IT関連企業のオフィスのスペース。今回のワーケーションへの協力でオフィスを貸し出していました。働く空間から生まれるデータで、働き方を変える実験施設でもあります。効率よく仕事するための環境が整えられています。



函館市のプレゼンテーション

函館市経済部が主導で行った今回のワーケーション。ワークラボ函館でプレゼンテーションが行われ、函館で行うワーケーションがオススメな理由を明確に説明してくれました。函館は全国市町村魅力度ランキングにおいて2015年以降6年間で4度1位になっています。これは京都以上に魅力的であると全国の人が認めた街ということになります。

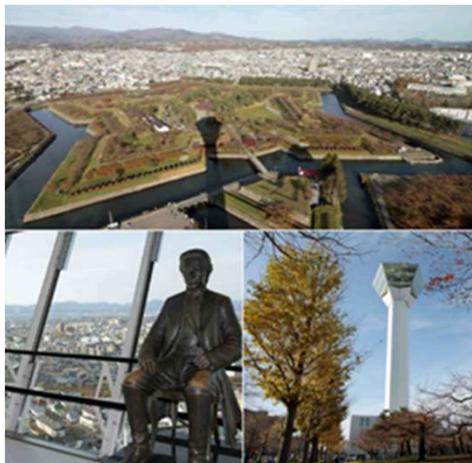
次に大都市圏からのアクセスです。東京・名古屋・大阪から航空機で80分。また新幹線でも4時間で東京から移動できます。更に空港から市内中心部までの移動が楽なこと、コンパクトシティであることも、魅力のひとつです。

冬場の北海道というと全域で雪に閉ざされるイメージですが、意外にも函館の積雪量は多くありません。気温の寒暖差が少なく、真夏日や真冬日の日数は道内主要都市で最小です。地震や台風被害の少ないことでも知られます。ワーケーションで街が気に入り永住の地になると、掛かる不動産費用は東京の55万円/㎡に比較して3万円/㎡と段違いに安くなります。市からは雇用や賃料の助成もあり、長く住める環境が整っています。



2. モニタツアーの企画・運営・広報・集客に関する業務（ツアー広告宣伝）

発信 ⑦ 航空ライター記事 11月29日更新



はこだて未来大学へ

最後に、IT企業の進出に役立つ教育機関「公立はこだて未来大学」の施設視察がありました。市の北側、亀田中野町にあるシステム情報学部の単科大学で情報アーキテクチャと複雑知能の2学科5コースから構成されています。

敷地面積15万㎡、延床面積3万㎡の広いキャンパスは、函館空港と新幹線新函館北斗駅双方から30分圏内とアクセスがよい位置にあります。実際に見学してみないとこの大学の建築意匠が伝わりません。教室という概念に固定されず、オープンなスペースに有機的に振り分けられた場所です。多くの施設が吹き抜けて、気持ちよく学ぶことのできる環境でした。

IT企業であれば、この大学との産学連携を考えたい校名の通りの未来志向の大学でした

多くのプログラムが選択できた

今回は、最短の2泊でしたが、3泊以上になると、はこだて未来大学に加え「北海道立工業技術センター」か「函館市国際水産・海洋総合研究センター」の視察を選ぶことができます。さらに、マインドフルネスプログラムや、オプションで農業・漁業体験まで用意されている充実の内容でした。

北海道でも本州に一番近く、気候も安定した函館は北海道でも特別な街のような気がします。労働集約型から知識集約型に転換した函館は、行くべき理由の多く見つかる場所でした。

五稜郭タワーへ

ツアーの中には函館の代表的なランドマーク「五稜郭タワー」への観光も含まれていました。1964年に完成し、2006年に新タワーとしてオープンしました。タワーは展望塔が二層になっており、展望2階に函館の歴史がわかる五稜郭歴史回廊があります。北側に広がる洋式城郭の特別史跡五稜郭の星形公園が一望でき、函館山や遠くは津軽海峡をはさみ、青森県の下北半島、津軽半島が視野に入ります。

取材協力：日本旅行 東日本法人支店 ⇒ <https://www.nta.co.jp/>
函館市観光情報サイト「はこぶら」 ⇒ <https://www.hakobura.jp/>
ワーケーションin函館 ⇒ <https://h-workation.jp/>

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

■ アンケート調査

【目的】

新たな市場の“ワーケーション”を継続的に行われるようにするため、ターゲットとするクライアントが求めているものやワーケーションに対するイメージ、さらには不便に感じていることを知るために調査した。

【アンケート項目】

基本情報

- 1、性別
- 2、家族構成
- 3、職業
- 4、職種

職場環境

- 5、勤め先に規定はありますか
- 6、勤怠管理

モニターツアーに関する

- 07、今回のモニタリングツアーについてどこで知りましたか？
- 08、今回のツアーに参加した理由は？
- 09、これまでに函館に来た回数
- 10、1ヶ月のうちワーケーション可能な日数
- 11、市内で利用した移動手段
- 12、ツアー中の業務内容
- 13、ツアー中の利用ツール
- 14、ワーケーションに期待すること・参加目的
- 15、感じられた効果
- 16、感じられた課題
- 17、今回の参加費用について
- 18、ワーケーションをするにあたって、障害と感じられたこと
- 19、日常テレワークとの違いについて、良かった点／悪かった点
- 20、利用施設名
- 21、利用施設の立地について（不満な場合の理由）
- 22、利用施設の広さについて（不満な場合の理由）
- 23、利用施設の通信環境（不満な場合の理由）
- 24、利用施設の設備について（不満な場合の理由）
- 25、参加した体験アクティビティ名
- 26、アクティビティの満足度、理由
- 27、宿泊施設名
- 28、宿泊施設の満足度、良かった点／気になった点
- 29、また函館でワーケーションをやってみたいと思いますか
ワーケーションを行うのに必要な条件はなんですか。
- 30、全体を通して良かったところ
- 31、全体を通して悪かったところ
- 32、今回参加したツアー日数
- 33、今回の日数について
- 34、理想の日数と価格帯
- 35、ツアー価格について
- 36、今後追加してほしいプログラムやアクティビティがあれば教えてください
- 37、市のプレゼン内容と視察先に関するご感想
- 38、今後、運営および函館市から、企業立地等に関する情報、観光情報など不定期で提供しても良いですか

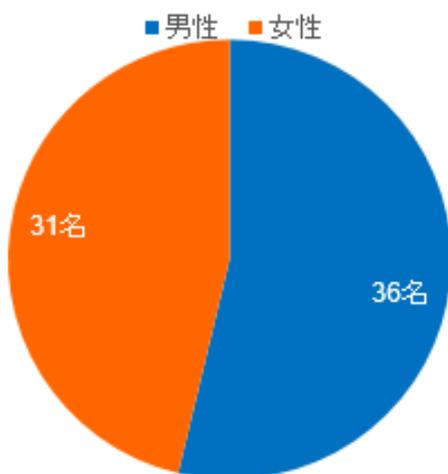
3. 実施アンケート結果及び集計・分析

【アンケート結果】（67名分）

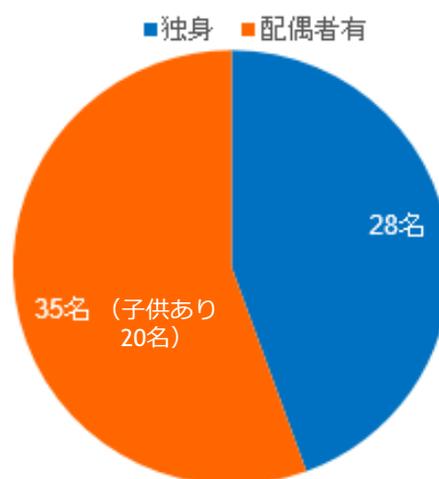
- ワーケーションモニターツアー参加者にツアー終了後にアンケート実施

基本情報

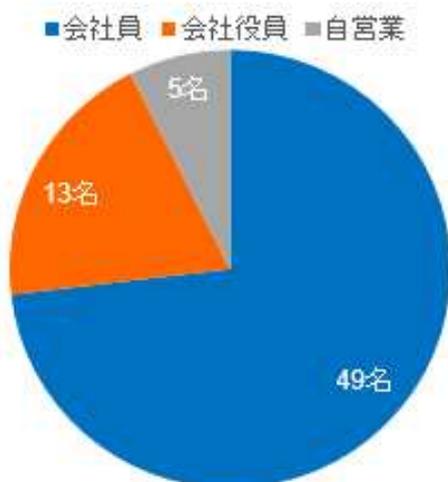
1.性別



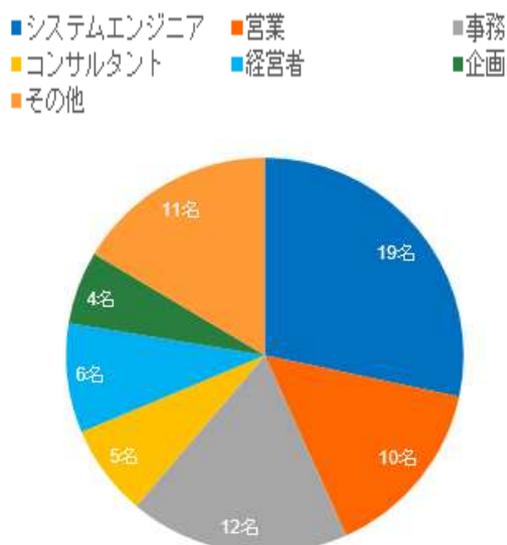
2.家族構成（未回答あり）



3.職業



4.職種



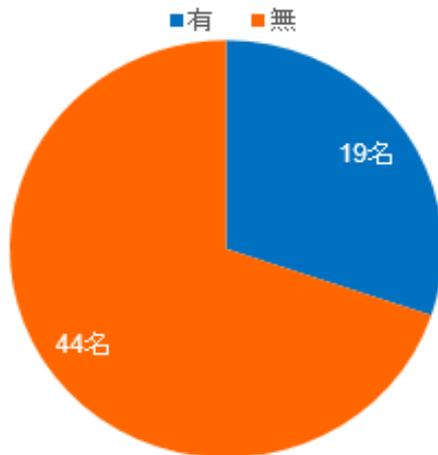
※その他・・・Webディレクター、ICTインストラクター、設計者等

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き)

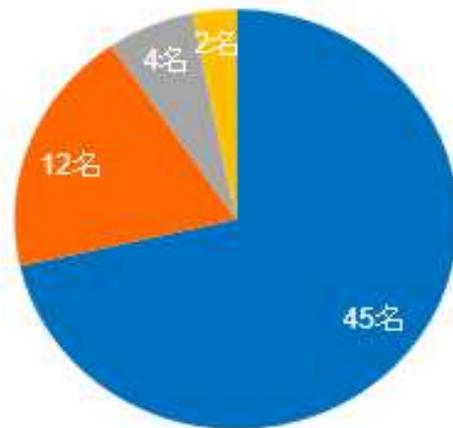
職場情報

5. 勤め先に規定があるか
(未回答あり)



6. 勤怠管理
(未回答あり)

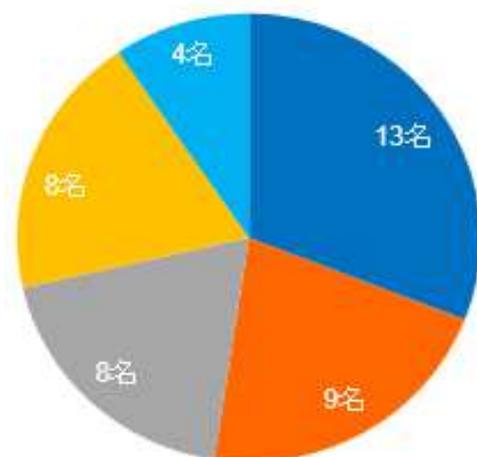
- 会社独自の出退勤管理システム
- 特に報告等の必要なし
- 上司にメールや電話での報告
- その他



モニターツアーに関して

7. モニタリングツアーをどこで知ったか (未回答あり)

- 知り合いからの紹介
- 付き合いのある企業からの紹介
- 函館市のワーケーションサイトを見て
- 旅行会社からの紹介
- その他

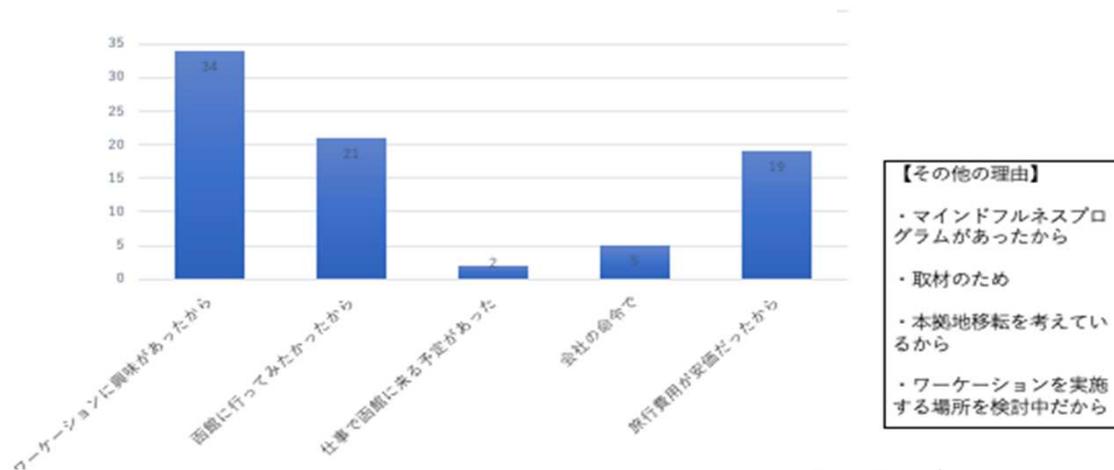


※その他・・・働き方改革の見本市、プレスリリース紹介サイト等

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

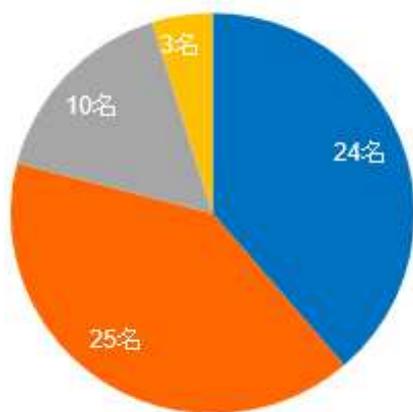
(前項の続き)

8. ツアーに参加した理由 (複数回答可)



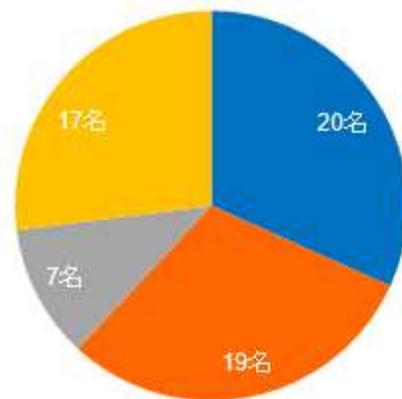
9. これまで函館に来た回数 (未回答あり)

■初めて ■1~5回 ■6回 ■函館出身・在住



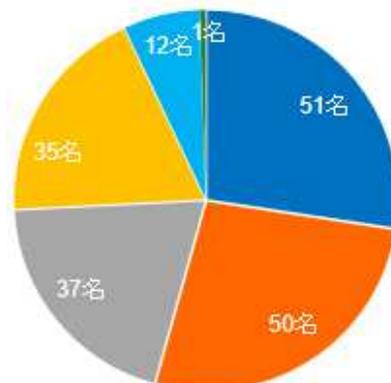
10. 1ヶ月のうちワークショップ可能な日数 (未回答あり)

■2~3日 ■1週間程度 ■半月程度 ■長期滞在可能



11. 市内で利用した移動手段 (複数回答可)

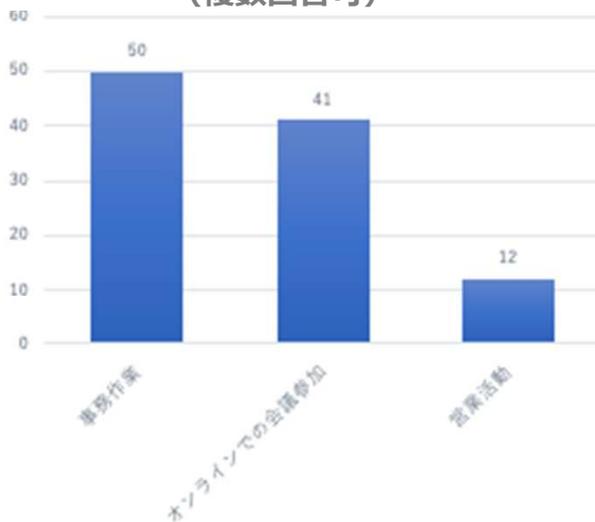
■徒歩
■電車
■バス
■タクシー
■レンタカー
■電動レンタサイクル



3. 実施アンケート結果及び集計・分析

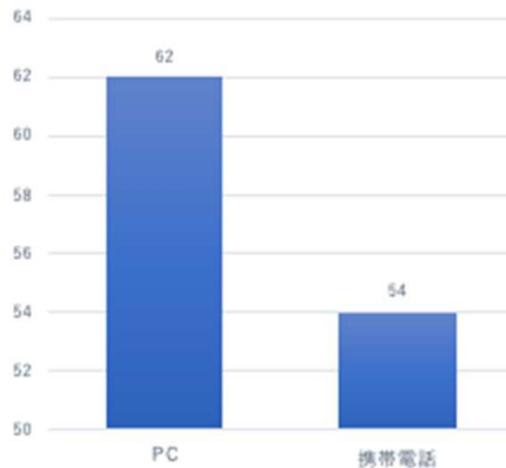
(前項の続き)

12. ツアー中の業務内容
(複数回答可)



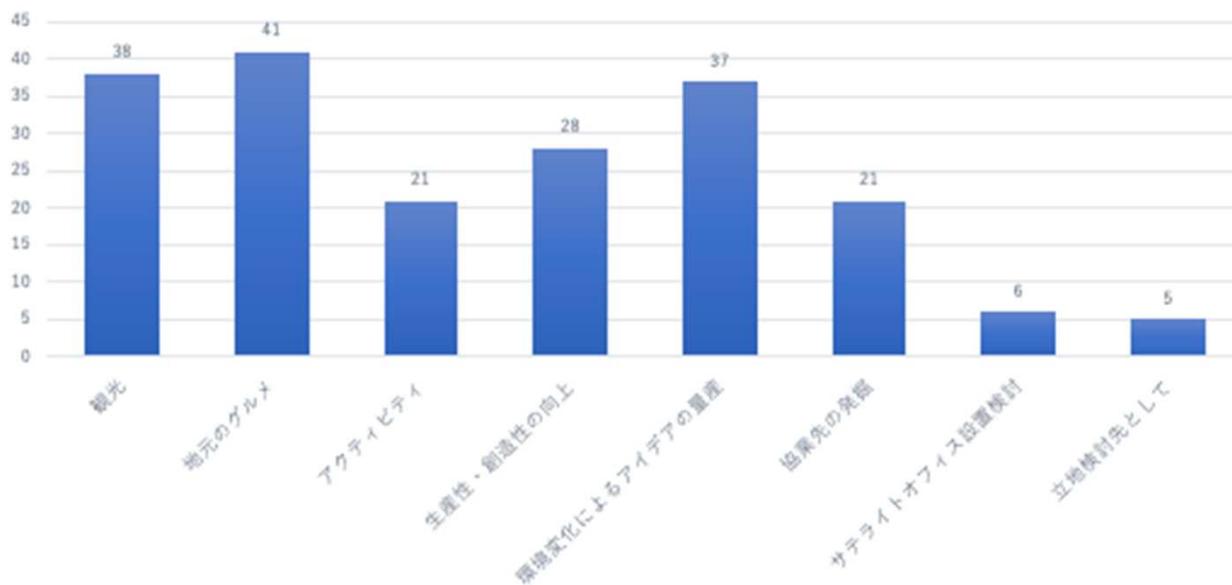
【その他】
 ・プログラム開発 ・セミナー講師 ・新商品開発
 ・コンサルティング ・地元企業との打合せ
 ・サーバー保守 ・集中検討

13. ツアー中の利用ツール
(複数回答可)



【その他】 タブレット、モニター

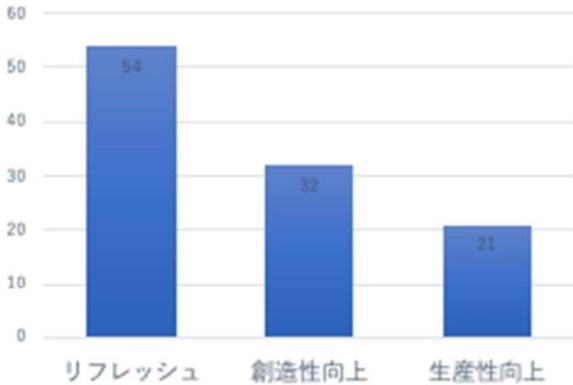
14. ワークーションに期待すること・参加目的
(複数回答可)



3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き)

15. 感じられた効果
(複数回答可)



【その他】

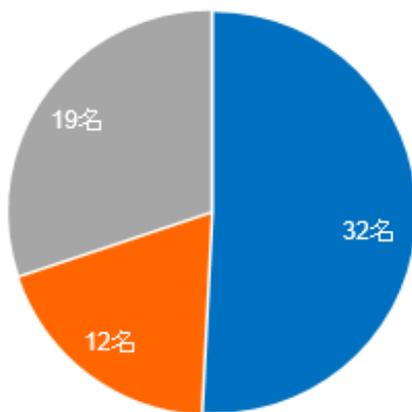
- ・新しい出合いや発見
- ・大学訪問による知識のインプット
- ・子供の進学先の視察
- ・社員間のコミュニケーション
- ・通勤時のストレスがない

16. 感じられた課題
(複数回答可)

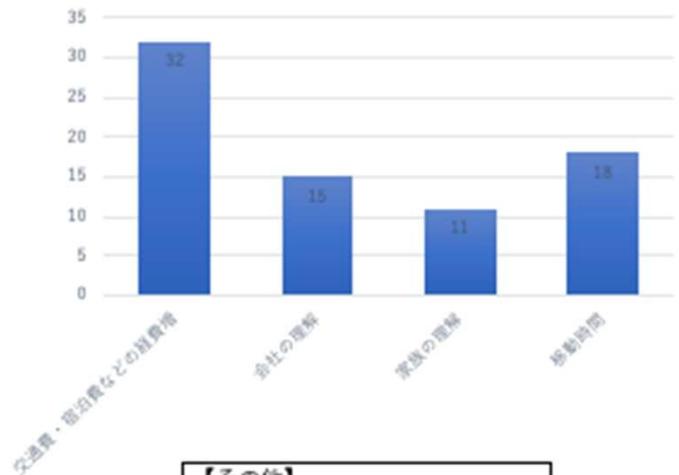
- ・ワークとバケーションのバランス
- ・仕事する場所の選択肢が思ったよりも少なかった。ホテルにも自由に使えるワークスペースが欲しかった。また、ホテルによってはwi-fi環境の課題も感じた。
- ・ワークする場所により、会議が難しかった。予め設備（モニター、フォンブース、会議室など）が分かると良い。
- ・オープンなスペースの為、情報セキュリティーや個人情報の取り扱いが気になった。
- ・企業としては、経費の問題。
- ・勤怠管理のルールが社内で整っていない。
- ・どうしても職場でないとできない作業がある。突発的な案件には対応しきれない。

17. 今回の参加費用について
(未回答あり)

■全額会社負担 ■一部自己負担 ■全額自己負担



18. ワケーションをするにあたって障害と感じられたこと (複数回答可)



【その他】

- ・プライバシー、機密情報の扱い
- ・仕事とバケーションの切り替え
- ・宿泊先のネット環境

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き) 19.日常テレワークとの違いについて、良かった/悪かった点
(自由記入)

実際に函館でのワークを体験した結果下記の意見が出た。

【良かった点】

- ・リフレッシュできた (26名)
- ・仕事に集中でき、作業が捗った (15名)
- ・新たな刺激を受け、創造性が向上した (6名)
- ・オンオフの切り替えができた (5名)
- ・モチベーションの向上 (4名)
- ・ストレスの軽減 (3名)

【悪かった点】

- ・周りの方の存在を気にしながらの作業となってしまう気疲れした (5名)
- ・バケーションに重点を置いてしまい、仕事自体はあまり進まなかった (2名)
- ・新たな環境に馴染むまでに時間が掛かった (2名)
- ・情報漏洩やセキュリティーの問題が気になった (2名)
- ・オンライン会議を出来るスペースが限られている (3名)
- ・ワークスペースに大画面モニターがない (1名)
- ・いつもより通信環境が不安定 (2名)
- ・普段より移動時間が掛かる (4名)
- ・多くの荷物を持つての移動が大変 (2名)
- ・印刷などの即時対応ができない (1名)
- ・お金が掛かる (1名)

仕事環境の変化は、マイナスよりも圧倒的にプラス面が多い声があった。

またマイナス面も、ワークスペースの環境を整備すること

(個室やブースで区切られた空間、モニターの設置、ネット環境の更なる充実など)により解決できる課題が多いと分かった。

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き) 20.利用施設名 21.利用施設の立地について
22.利用施設の広さについて 23.利用施設の通信環境について
24.利用施設の設備について
(不満な場合の理由は自由記入)

【施設利用について】

【ワークラボ函館】 (回答者38名)

- 立地：満足 (71%)、普通 (29%)
- 広さ：満足 (50%)、普通 (45%)
不満 (5%) → ・少し狭い。PCで資料を見たり、
・TV会議の際のセキュリティーに問題を感じた。
- ネット環境：満足 (82%)、普通 (18%)
- 設備：満足 (58%)、普通 (32%)
不満 (10%) → ・音楽に慣れていないので、仕事中に流れる音楽が気になった。
・貸し出し団体の方々とガラスで仕切られており、みられている感じがちょっと嫌だった。
・電話をするときの場所 (別会社と一緒にいる場合は必要)
・対客サービスが良くなかった。

【大三坂オフィス】 (回答者23名)

- 立地：満足 (83%)、普通 (17%)
- 広さ：満足 (48%)
普通 (48%) → ・個人用ブースを増やして欲しい。
不満 (4%) ※理由の記載無し
- ネット環境：満足 (74%)、普通 (22%)
不満 (4%) → ・社内のサーバーにアクセス出来なかった。(原因不明)
- 設備：満足 (70%)、普通 (26%)
不満 (4%) → ・モニターが欲しい。

その他意見→午前10時からオープンというのが遅いのではないかという印象。
会場の雰囲気は非常に良い。オーナーが面白い方だった。

【WB本町児童館】 (回答者4名)

- 立地：普通 (100%)
- 広さ：満足 (50%)、普通 (50%)
- ネット環境：満足 (75%)、普通 (25%)
- 設備：普通 (75%)、不満 (25%)
→ ・トイレが男女共用で、さらに便座が冷たかった。
・自販機がなかったので、自販機設置していただくと嬉しい。
・モニターがあると良かった。

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き)

【施設利用について】

【函館市臨海研究所】 (回答者22名)

- 立地：満足 (41%)
普通 (59%) → ・車がないと移動は不便かもしれない。
・近場にコーヒーショップがなかった。
- 広さ：満足 (59%)、普通 (41%)
- ネット環境：満足 (73%)、普通 (23%)
不満 (4%) → ・回線速度がやや遅めと感じた。
- 設備：満足 (73%)
普通 (23%) → ・電源とモニターを用意していただけたのは有り難かったが、机の配置を壁が背になるようにして頂ければ、なお良かった (画面を見られることを避ける必要があるため)
不満 (4%) → ・飲料水購入に苦労した。

【産業支援センター】 (回答者4名)

- 立地：満足 (25%)
普通 (25%)、不満 (50%) → 函館駅周辺からの交通の便が悪い。
- 広さ：満足 (100%)
- ネット環境：満足 (75%)
不満 (25%) → セキュリティ面 (パスワード設定)
- 設備：満足 (100%)

【Gスクエア】 (回答者3名)

- 立地：満足 (100%)
- 広さ：満足 (100%)
- ネット環境：満足 (67%)、普通 (33%)
- 設備：満足 (67%)、普通 (33%)

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き) 25.参加した体験アクティビティ名 26.アクティビティの満足度・理由
(自由記入)

【イカ釣り体験】 (回答者3名)

- 満足 (33%) → ・ 上手く釣れて、食べても美味しかった。
普通 (67%) → ・ 船釣りを期待していた
・ 単価が高かった



【函館山夜景】 (回答者16名)

- 満足 (100%) → ・ 感動する美しさ。市街地からの距離も離れていない。

【はこだて未来大学】 (回答者18名)

- 満足 (83%) → ・ マリンITなど新しい知識が得られた。
・ 建物と大学のコンセプトが素晴らしかった。
・ 近未来的で斬新な空間デザインの施設に刺激を受けた。
・ 社会連携担当者の方との名刺交換もできた。

- 普通 (17%) → ・ コロナ禍という事もあり、実際に研究内容のディスカッションや生の声が聞けなかった。
・ なんらかの参加型プログラムがあったらより良かった。

【五稜郭】 (回答者20名)

- 満足 (90%) → ・ 函館市内を一望できた。
・ 説明もしていただけただけなので理解が深まった。
普通 (10%) → ・ 展望デッキにカフェがあって景色見ながらお茶できたらもっと良かった。

【朝市・海鮮丼】 (回答者6名)

- 満足 (33%) → ・ なんでも新鮮で美味しかった。GoTo共通クーポンも使えた。
普通/不満 (67%) → ・ 価格が旅行者用で高い。
・ カメラの前では美味しく食べれない。

【マインドフルネスプログラム】 (回答者4名)

- 満足 (50%) → ・ 普段では実践することのない寺社での修行、歩行禅での山登り等を体験できた。
・ 運営など課題はあったが、意味のあるプログラムであった。
普通 → (50%) ・ ガイドなどの是非はともかく、どういうものが客の立場でわかった。

【海洋センター】 (回答者5名)

- 満足 (60%) → ・ 研究活動や設備のすばらしさ。
普通 → (40%) ・ ほぼ話を聞いているだけだったので、研究内容等をもう少し体験できると面白かったかなと感じた。

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き) 27.宿泊施設名 28.宿泊施設の良かった点/気になった点
(自由記入)

【ユニゾンインエクスプレス函館駅前】 (利用者が最も多かった)

<良かった点>

- ・新しいホテルの為、きれい。清潔な内装。
- ・部屋の照明が明るく過ごしやすい。
- ・駅から近くて、どこへ行くにも便利。
- ・地域で使えるクーポン券を貰えた。
- ・朝食の際のスタッフの方が感じが良く丁寧で食事内容も程よい量でおいしかった。

<気になった点>

- ・お風呂がとにかく狭い。ボディソープが空だった。
フェイスタオルが無い・くしが無いなど、標準設備のアメニティが少ない。
- ・枕元にコンセントが無かった。
- ・壁が少し薄かった。

【函館国際ホテル】

<良かった点>

- ・朝食、居室環境とも最高でした。
- ・温泉があること。
- ・ハード面、ソフト面両方でホスピタリティが行き届いており満足。

【ラジエントステイ函館駅前】

<良かった点>

- ・大浴場が天然温泉で非常に満足出来た。
- ・部屋がきれいで良かった。
- ・朝食が6時からなのは嬉しい。内容にもとても満足。
- ・部屋に置かれていた消耗品類のクオリティが良い。空気清浄機が置かれている。

<気になった点>

- ・部屋にシャワーしか無かった。
- ・バーの担当者の対応が良くなかった。

【湯の浜ホテル】

<良かった点>

- ・温泉が非常に良かった。

<気になった点>

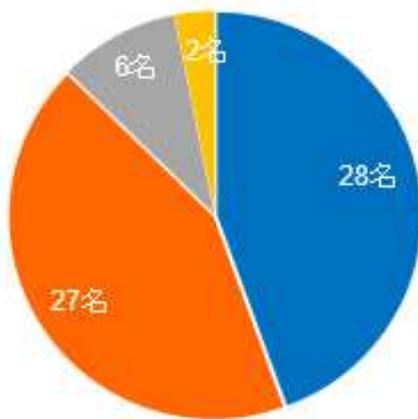
- ・部屋にWi-Fi環境がないことが残念。
- ・2泊目にタオルや歯ブラシがない、部屋の洗面所に石けんがない、トイレの流しの取手が壊れている。

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き)

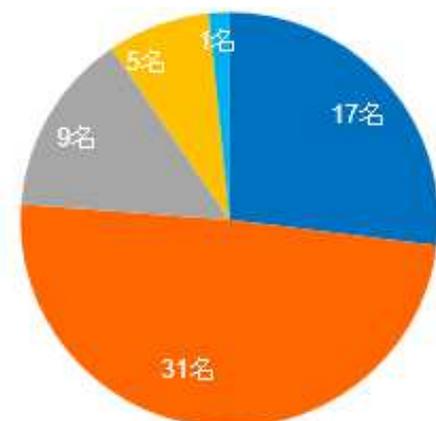
29. また函館でワーケーションをやってみたいか (未回答あり)

- ぜひやってみたい
- 条件が合えばやってみたい
- どちらとも言えない
- やりたくない



32. ツアーの日数 (未回答あり)

- 1泊2日
- 2泊3日
- 3泊4日
- 4泊5日
- それ以上



【ワーケーションを行うのに必要な条件】

<多数意見>

- 1、旅費・宿泊費の助成 (26名)
- 2、研修や地元企業との交流など (19名)
- 自身や会社に有益なイベント (18名)
- などがある

その他・・・

- ・家族も同行できる環境
- ・テレワーク時のセキュリティ対策

30. 全体を通して良かった点 (自由記入)

- ・食事が美味しい (29名)
- ・街並みや観光名所 (22名)
- ・交通渋滞や通勤ラッシュがない
- ・親切で温かい人が多い

31. 全体を通して悪かった点 (自由記入)

- ・飲食店の値段が高い
- ・施設などの閉まる時間が早い
- ・交通の便が悪い
- ・夜はかなり寒い

33. 今回の日数について

- ・3泊4日まで
→適切、短い意見が多数
- ・それ以上
→適切が多数、長い意見もあり

34. 理想の日数と価格帯

個人個人で日数と価格帯にはかなりの幅があるが、3～4泊を理想とする人が最も多い。

理想価格帯の例

- ・2泊 15,000円～80,000円
- ・3泊 15,000円～50,000円
- ・4泊 20,000円～50,000円
- ・5泊 20,000円～40,000円

35. 今回のツアー価格について (未回答あり)

満足 58名 普通 5名 不満 0名

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き)

36. 今後追加してほしいプログラムやアクティビティについて (自由記入)

(アクティビティ)

- ・ 釣り
- ・ スケート
- ・ 季節によりますが、サルが温泉入っているのを見学できるツアー
- ・ 函館の歴史、自然、建築、工芸、食材等ストーリーのある体験プログラム
- ・ 天候に左右されるので難しいと思うが、屋外でのヨガ

(プログラム)

- ・ 地元企業との交流
- ・ 牧場での体験型ワーケーション
- ・ 民泊型留学型ワーケーション
- ・ 研究施設では研究内容の説明が多かったが、研究の模擬体験・製造の体験ができれば良い
- ・ 函館どっくの訪問
- ・ レンタカー付きのプランやファスティング併用プラン
- ・ 実際に函館に移転、サテライトオフィスをした企業の方（経営者）との意見交換
- ・ インフラ関連の見学（電気、水道、交通等）
- ・ 函館市内でのホームステイ

(その他)

- ・ ミシュランスポットに行くための簡単な地図や紹介

体験した意見から下記項目の調整が今後課題となる。

- ・ 料金
- ・ 地元との触れ合い
- ・ ショート期間の設定（2泊3日のツアーでは参加できるアクティビティに制約があり、必ずしも希望通りに参加できないことがある。）

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き)

【全体を通しての意見・要望】

- ・大学の視察がよかった。学生や研究の様子を見れなかったのは残念だが、人材について考える機会になった。
- ・企業マッチする函館企業との協業機会があっても良いのでは？
- ・業務と観光の時間帯の切り替えが難しいのと、今回は、会社の経費で出張したので、会社の経費で観光することが若干のうしろめたさがあった。視察先は個別には訪問し辛いところであったのでよかった。
- ・複数人で集中して、効率よく作業を行いたい場合等、かなり有効に活用できると感じた。強いて言えば、(ホテルの会議室を使える等)もう少し業務時間が取れるとよかった。
- ・函館山のロープウェイチケットが含まれるとよい。
- ・宿泊先ホテルでも仕事ができるような環境がほしい(コワーキングスペース相当)
- ・先にワーケーション説明や名刺交換の場があり、次に五稜郭タワーの方がよかったかもしれません。
- ・函館みらい大学も、これまで知らなかったのですが、子供の進学先の候補として検討したい。
- ・ワーケーション全体として、これからのビジネスモデルになってくると思ったが、企業の理解（経費等）が重要な課題であるかと感じた。
- ・説明の時間が長かった。イベント体験などの時間を増やすとベター。
- ・空港にもビジネススペースがあった。これも謳って良いのではないか。
- ・事前案内がわかりづらい（メールの文字サイズがバラバラ、統合されたスケジュールが提示されていないため、自分で工程表をつくらなければならない）
- ・ツアーの内容がわかりづらいのと、申し込みや問い合わせはネットでできると良かったです。
- ・「ワーク」のことを考えると各ロケーションの設備（フォンブースなど）、利便性（駅からの交通）があらかじめ目でわかるものがあるとありがたい。
- ・初めてのワーケーションプログラム参加でしたが、週末はさむスケジュールにしてもらった方が、もっと函館を観光できるのではないかと思います。

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き)

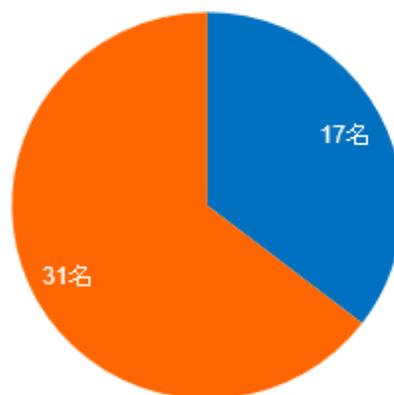
37.函館市のプレゼン内容と視察先に関するご感想 (自由記入)

【市のプレゼンに関する感想】

- ・市のプレゼン内容は、あくまで一般的内容で、もう少し踏み込んだ会話をしたかった。
- ・プレゼン内容は大変有益だった。
もう少し長い滞在にして、具体的な要件を詰めたり、物件を見て回ったりというのができれば良かったと思う。
- ・プレゼンテーション時、スライドがうまく表示されず割愛された部分があったのは残念だった。
- ・歴史ある街なので、市の歴史（成り立ち等）についても概観をプレゼンして欲しかった。
- ・大変興味深く拝見拝聴しましたが、ワーケーションの誘致と企業の誘致は別に考える方がよいと思う。
(観光地としての魅力と企業拠点としての魅力は別であり、求める情報も異なるため)。
- ・真夏日や積雪量が札幌や青森と比べて圧倒的に少ないというのは驚きました。
- ・市のプレゼンは急遽、コロナの影響でオンライン開催でしたが、移住・関係人口を増やしていきたいという気持ちがうかがえました。
- ・今回の目的や期待している事ももっと説明があっても良いと思った。

38.今後、運営および函館市から、企業立地等に関する情報、観光情報など不定期で提供しても良いですか (未回答あり)

■良い ■不要



3. 実施アンケート結果及び集計・分析

【ワーケーション先としての函館の強み・弱み】

強み

- ◆ 魅力的な観光地である
 - ・ 観光名所の多さ
函館山、はこだて未来大学、五稜郭タワーなど他都市にはない魅力的なスポットが多数存在する
 - ・ 景観が美しい、食事が美味しい
- ◆ 街の立地や特性が優れている
 - ・ 函館空港からの市内へのアクセスが良い
 - ・ 街がコンパクトで廻りやすい
- ◆ 交通の便が良い
 - ・ 市内移動手段が十分である（特に市電が便利との声が多数）
 - ・ 交通機関が混雑しておらずストレスが少ない

弱み

- ◆ ワークスペースの整備が行き届いていない
 - ・ コワーキングスペースに個室やブースで仕切られた空間が少なく、情報漏洩や他人の視線が気になる。モニターなどの設備が不足している。
 - ・ 滞在先ホテルにワークスペースが確保されていない、もしくはWi-Fiなどの環境が整っていない
- ◆ 移動時間・交通費の問題
 - ・ 東京からだとやはり移動時間や交通費が嵩んでしまう

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

【要望・重要視している点】

※今回、各対象レイヤーごとに要望の偏りや特色があったわけではない為、幅広い層から多数聞かれた要望を記載しています。

<宿泊施設に関して>

- ・施設が綺麗、清潔であること
- ・大浴場や温泉があること
- ・朝食が充実していること
- ・アクセスが良いこと

◆女性から◆

- ・アメニティーが充実していること
(フェイスタオルがある、リンスとシャンプーが別である等)
- ・スタッフの対応が良い、ホスピタリティがある

<コワーキングスペースに関して>

- ・個室など仕切られたスペースがほしい
- ・使いやすい広い机
- ・疲れにくい椅子
- ・交通の便が良い場所に施設があること
- ・対客サービスの良さ
- ・利用可能時間が長いこと
(オープン時刻が早く、クローズが遅い)
- ・飲み物の入手が容易であること

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

(前項の続き)

<アクティビティに関して>

- ・はこだて未来大学や海洋センターなどは、説明が中心であった為、もう少し参加型・体験型であってほしい
- ・函館山のロープウェイチケットをツアーに含んでほしい

※具体的に他に実施してほしいアクティビティについては、26ページをご参照ください

函館山・五稜郭・はこだて未来大学への視察は、延54名が参加しており、満足度も三箇所平均で90%を越えている為、ニーズは非常に高いと考えられる。

<ワーケーション全体に関して>

- ・宿泊先ホテルでも仕事ができる環境がほしい
(コワーキングスペース相当のもの)
- ・観光に集中したい為、週末を挟んだスケジュール構成にしてほしい
- ・ワーケーションに来ている人たちや、地元の人々との交流の場がほしい
- ・ツアーの事前案内や申し込みをわかりやすくしてほしい
- ・コワーキングスペースやホテルの場所が把握しづらかった為、ガイドマップ的なアプリか、ウェブサイトがほしい

3. 実施アンケート結果及び集計・分析

【企業がワーケーションを行う際の課題（参加者の声より）】

◆経費の問題

- ・ 経理上の経費配分の問題、出張旅費としての経費精算をどうするか
- ・ 企業がお金を出してワーケーションをさせるにはお金に替わるベネフィットが必要となる

◆社内体制の整備及びワーケーションへの理解

- ・ 社内規程や勤怠管理の整備など社内体制の確立
- ・ 自社内のワーケーションに対する納得感の違い（ワーケーション可能な従業員とそうではない従業員が存在）

◆実務への支障の懸念

- ・ 上司、同僚との即時的なコミュニケーションは取りにくいいため、火急の案件があった場合は難しい。
- ・ 請求書の作成業務など、普段の職場でないとできない作業抱えていると、長期間不在にすることはできない。
- ・ コワーキングスペースの営業日が限られていることや、利用に予約が必要な施設もあったことから、突発的な利用が難しく利便性に欠ける所がある。

◆情報セキュリティ

- ・ 会議は基本社外秘のことを話すため、他人に聞かれないような環境がほしい。

◆その他

- ・ 移動を含むコロナ禍対策

4. 総括（モニタリングツアーについて課題の抽出と次年度以降の戦略）

今回のワーケーションモニタリングツアーを実施した中でいくつかの課題があげられます。

ワーク（コワーキングスペース）の課題

環境が変わり、仕事に集中できた・新たな創造ができたなどプラス面の意見が多い反面、課題としては今回参加者にご利用いただいたコワーキングスペースがオフィス勤務と同様の業務範囲、クオリティを保った仕事ができる環境にはなっていないことがあげられる。函館でワーケーションをコンスタントに実施していただくために個人用ブース・オンライン会議スペース・大型モニター・フォンスペース等を整備し、テレワーク環境の向上を図ることが急務と考える。

又、自動販売機がなかったり、トイレが男女共用であったりと設備面でも課題あるコワーキングスペースもあった。機能的かつおしゃれなところもアピールポイントになると考える。

企業が安心して函館に社員を送り出せるよう不便なく業務がこなせ、更には社員の方がリピートしたくなるようなおしゃれな（きれいな）環境を提供する必要がある。

移動することなく、宿泊ホテルでテレワーク（部屋ではなくコワーキングスペース並みの環境）したいというニーズもあった。

→次年度以降の戦略

例えば函館市営の函館市臨海研究所の会議室を改修し、ワーケーションの中心基地（ワーケーション都市としての象徴的な建物）としたり、他コワーキングスペースあるいは市内ホテル・旅館の対しても助成金を拠出し、企業が求めるコワーキングスペースを設置。

- ・市内ホテル・旅館等でコワーキングスペースを新設した場合の助成（特に温泉旅館の場合、旅行客の個人化に伴い、和式宴会場をコワーキングスペースに改装を推奨）

ワーケーション＝「ワーク」と「バケーション」となると、日常と非日常の組み合わせとなるので、特に「ワーク」と温泉旅館あるいはリゾートホテルとのコラボは重要かつ、魅力（武器）となる。

4. 総括（モニタリングツアーについて課題の抽出と次年度以降の戦略）

バケーション（観光）の課題

今回のモニタリングツアーではコワーキングスペースでの毎日の「ワーク」とプレゼン・視察と拘束時間が多く、「バケーション」にあてる時間がとれなかった。短期滞在者には難しいが長期滞在者には週末を挟んだツアー設定も検討する必要がある。また、今回の参加者の中でツアー期間中の平日に有休取得した方がいるか確認することは出来ないが、短期滞在者には有休取得を推奨することも必要であると考えます。

→次年度以降の戦略

短期滞在者に負担をかけないように、ツアー期間を日曜日～水曜日の3泊4日（移動日&到着後バケーション+2泊3日）を基本とする。平日に有休をとることを推奨し、期間中のモデルプランを提示する。また、函館の魅力として見ていただきたい函館山からの夜景にはロープウェイのチケットのツアー代金に含めることにより“行かないと損”感をだし、全員にいてもらうようにする。

（今年度は定期整備点検にあたる日がツアー設定の中で2設定あったためチケットをツアー代金に含めなかった経緯あり）

※2021年はメインロープの交換工事のため9月20日（月・祝）～11月7日（日）の49日間運行休止

夏の期間限定となるが到着日の日曜日に函館競馬場観戦（7/3～8/8開催）

例) 1日目（日曜日）各地より函館へ移動。着後、バケーション。

2日目（月曜日）<ワーク日>

午前/函館市様からのプレゼン→視察※1

午後/コワーキングスペースにてワーク※2

※1,2は班編成により逆になる場合があります。

3日目（火曜日）<バケーション日/有休取得>

朝：自由市場又は朝市（朝食）

終日、函館市内散策（西部地区）+函館山夜景鑑賞等。

4日目（水曜日）<ワーク日>

出発までコワーキングスペースにてワーク

午後、各地へ移動

4. 総括（モニタリングツアーについて課題の抽出と次年度以降の戦略）

プレゼン・視察の課題

今年度の函館市様のプレゼン（五稜郭も含む）・公立はこだて未来大学・函館国際水産・海洋総合研究センター・道立工業技術センターの視察に関しては参加者の満足度は高かったが、当初、函館市様が考えられたように参加企業の中で①ワーケーションを目指す（ワーケーションをする）②企業立地・サテライトオフィス開設を目指す（大多数は①ですが）のニーズが異なるため、②企業立地・サテライトオフィス開設を目指す参加者には別プランを設け、実際に立地現場を視察したり、ニーズにあったプレゼンをする必要があると感じた。①ワーケーションを目指す（ワーケーションをする）を経て②企業立地・サテライトオフィス開設を目指すへのステップも重要なことから、①のプレゼンでも②の説明をしっかりとすることもあわせて必要となると考える。

また、コロナ禍のツアー実施であったため公立はこだて未来大学での視察では“学生がいない”、“学生との交流が出来なかった”等の意見が多数あげられていて、ただ説明を受けるのではなく、「交流や体験」をしたいという要望が多かった。現地企業家との交流の場を求め要望も多かった。

→次年度以降の戦略

- ①ワーケーションを目指す（ワーケーションをする）
 - ②企業立地・サテライトオフィス開設を目指す
- ニーズにわけて2班体制でツアーを設定する

①,②共通

今年度同様、公立はこだて未来大学・函館国際水産・海洋総合研究センター・道立工業技術センターの視察を設定する。コロナ収束に至れば学生等との交流を設定（内容変われば同じ視察先でも）。地元企業との交流会を開催し、意見交換、協業の可能性を探る機会を与える→参加企業としてもこういったものに参加するという名目があればよりワーケーションモニタリングツアーに参加しやすくなる。

4. 総括（モニタリングツアーについて課題の抽出と次年度以降の戦略）

②企業立地・サテライトオフィス開設を目指す企業様向け

- ・函館市様の公用車で立地現場（函館臨空工業団地）などを視察するプランを設定する。五稜郭タワーからの説明もあるが、公用車にて“函館がわかる車窓ツアー”を実施（ともえ大橋通過・車窓で函館フェリーターミナル、北海道大学水産学部、建設中の江差高速、北海道新幹線の高架橋、公立はこだて未来大学、函館テクノパーク、工業技術センター、大谷短期、北海道教育大学函館校等）
※到着日、各自INした函館空港の他、陸海空と函館がいかにアクセスがいいのか再確認。そして大学等（雇用、研究施設）がたくさんあるということをご自身の目で感じていただきます。
- ・実際に立地した企業からの話を聞く場を設ける
（地元企業との交流の中で①、②共通とする場合あり）

プログラムの課題

今年度実施したマインドフルネスプログラムは普段体験ができない寺での修行、歩行禅での山登りを体験することが出来たが、事前の打ちあわせ不足もあり、若干運営に課題を残した。企業がある程度のグループ（団体）で参加できるようなチームビルディング、研修プログラムを設定することにより、より多くの企業が参加していただけると考えます。

→次年度以降の戦略

- ・マインドフルネスプログラム（函館山登山）は引き続きプログラムの候補の1つとする。
- ・夏の期間の設定であれば鹿部町（函館より車約1時間）にて刺網 漁業体験・手ぶら漁港釣り体験・昆布漁業体験等の北海道らしいプログラムが組める。
- ・企業立地・サテライトオフィス開設を目指すにあたり、函館の企業にて取り組みをしているSDGsの紹介を含めた研修プログラムを設定

4. 総括（モニタリングツアーについて課題の抽出と次年度以降の戦略）

宿泊施設の課題

今回、ビジネスホテル・シティホテル（温泉付き）・温泉旅館（湯の川温泉）の3プランを案内したが、大多数が安価で利便性の高い駅前のビジネスホテルを利用した。函館市の魅力（武器）の1つである湯の川温泉には数名（滞在中の1泊あるいは2泊）のみの利用となった。理由としては1名利用の場合は割高になることと、温泉旅館特有の1泊2食（夕・朝）付きの縛りがあげられる。長期滞在の場合（温泉旅館には通常1泊が多い）、色々な（違った）内容・場所での食事を楽しみたいというニーズがあるため温泉旅館の魅力を感じながらもビジネスホテル・シティホテルを選択する傾向がある。今回、家族参加はなかったが、家族参加を考慮すると温泉ホテルでの食事なしプランの設定が重要なポイントとなる。

（1名利用では割高になるが、3～4名で利用すると割安）
また、湯の川温泉では一部、部屋にWIFI環境のないホテルがある。

→次年度以降の戦略

市内ホテル・旅館等に交渉し、食事なしのリーズナブルな長期滞在プランの設定に対して助成

（特に温泉旅館の場合、基本1泊2食付きとなり、ワーケーションには障害となる）

→ワーケーションを取組むお客様のみにワーケーション付き宿泊プランを販売。助成金を適用する等。

また、Wi-Fi設置、ひいてはコワーキングスペース新設への助成金を拠出する。

4. 総括（モニタリングツアーについて課題の抽出と次年度以降の戦略）

【ツアー申し込み・手配について】

良かった点)

- ・弊社、赤い風船でパッケージツアー造成し、全国展開（ツアー発着は東京・名古屋・大阪）し、全国どこの支店からでも予約ができる体制を構築できた。（ニュースリリース等でも発信し社内外で浸透した）
- ・赤い風船での申し込み受付のため、1名からの予約が可能となり旅行日程・希望便・希望ホテル等の手配の自由度が増した。
- ・出発の10日前まで申込が可能であり、間際の申込を取り入れた。
- ・赤い風船のパッケージツアーを利用することにより、安価なツアー設定が出来たことと、更にGo To トラベルキャンペーンの助成を受けることにより、割安に参加することが出来た。

改善すべき点)

- ・申し込みは全国で可能なもののツアーの詳細の周知が各支店に徹底されず、日本旅行他支店に申込・問い合わせがあった場合、細かな質問等への対応・回答までに時間を要した。
- ・ツアー参加条件（今回の場合、フリーランスは参加不可）への制御ができず、異なるターゲット層（タクシー会社等）の申し込みが完了してしまった（最終的にはキャンセルとなった）
- ・料金面は割安感がある反面、航空便・ホテルの事前確保が出来ず、予約状況によっては航空便・ホテルの代案提示までに時間を要した。
- ・申し込みのほとんどが出発日の20日前を過ぎた（キャンセルチャージがかかる対象日を過ぎた）時期となり、視察先、コワーキングスペースの調整がぎりぎりとなった。

5. 総括（モニタリングツアーについて課題の抽出と次年度以降の戦略）

【ツアー造成について】

・次年度は2021年7～9月という函館のベストシーズンにモニタリングツアーを設定する予定とした場合、東京2020オリンピック・パラリンピック（2021年7月23日（金）～8月8日（日）/8月24日（火）～9月5日（日））開催の関係上、その前後でのツアー設定となることと、夏休みのピークシーズンということもあり、日程を絞り、基本とする3泊4日に対して団体に**航空・ホテルの事前仕入れ**を行い、在庫管理をさせていただきます。

【ツアー受付について】

・今年度同様、全国展開をしますが、在庫管理をする関係上、次年度の受付は東日本法人支店を窓口とし、電話またはWebにて予約が完了できるようにさせていただきます。

【今年度（赤い風船ツアー予約）と次年度（団体予約）の違いについて】

・次年度ツアーに関しては東京2020オリンピック・パラリンピックの影響と夏のピーク時の予約ということもあり、申込時に予約が取れないということがないように航空、ホテルを事前予約をします。事前に航空・ホテルが確保できるメリットがある反面、団体予約のため各空港発着の最低人数のバーが設けられるということと、22日前までに申し込みを完了していただくというデメリットもあります。

→前者のメリットが重要となるため、航空の最少人員を鑑み1班につき15名様～20名様の参加を目論見、班設定を考えております。

※2日目に10名×2班、7名様×3班等にて視察とコワーキングスペース利用等にわけます。

	団体予約（次年度）	赤い風船（今年度）
事前仕入	可	不可
最少催行	各出発地 5名（JAL）/8名（ANA）	各出発地 1名（JAL・ANA）
申込締切	出発の22日前	出発の10日前

5. 総括（モニタリングツアーについて課題の抽出と次年度以降の戦略）

参考/日程案

7月2021

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	12	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
				海の日	スポーツの日 東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)
25	26	27	28	29	30	31
東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)

8月2021

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2	3	4	5	6	7
東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)	東京2020 (オリンピック)
8	9	10	11	12	13	14
山の日 東京2020 (オリンピック)	振替休日					
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
		東京2020 (パラリンピック)	東京2020 (パラリンピック)	東京2020 (パラリンピック)	東京2020 (パラリンピック)	東京2020 (パラリンピック)
29	30	31	1	2	3	4
東京2020 (パラリンピック)	東京2020 (パラリンピック)	東京2020 (パラリンピック)	東京2020 (パラリンピック)	東京2020 (パラリンピック)	東京2020 (パラリンピック)	東京2020 (パラリンピック)

5. 総括（モニタリングツアーについて課題の抽出と次年度以降の戦略）

9月2021

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
29	30	31	1	2	3	4
東京2020 (パラリンピック)						
5	6	7	8	9	10	11
東京2020 (パラリンピック)						
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
	敬老の日			秋分の日		
26	27	28	29	30	31	

まとめ

今年度のモニタリングツアー実施前と比較して「ワーケーション」という言葉は働き方改革の一環として世間に浸透してきていると感じます。

まずは、テレワーク環境の向上を図りコワーキングスペース他を整備し、住みやすさ・観光・食などの函館の魅力をあわせれば、函館市はワーケーションNO1都市の1つとなると考えます。

そのためには官民が協力し、函館市全体でワーケーションNO1都市を目指し取り組むことが必要となると考えます。

また、家族単位でワーケーションや移住を考えると教育機関との連携も必要となると考えます。